

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第99期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
【会社名】	日華化学株式会社
【英訳名】	NICCA CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江守 康昌
【本店の所在の場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理本部長 林 幸照
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理本部長 林 幸照
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第98期 第1四半期連結 累計期間	第99期 第1四半期連結 累計期間	第98期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	7,648,776	7,949,192	31,021,878
経常利益(千円)	317,292	337,509	1,103,088
四半期(当期)純利益(千円)	156,370	203,883	494,686
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	348,945	915,888	27,857
純資産額(千円)	12,038,490	12,364,128	11,534,613
総資産額(千円)	33,729,122	36,621,376	35,527,516
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	8.88	11.58	28.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	30.1	28.8	27.8

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興事業等を背景とする緩やかな回復の兆しがみられるものの、欧州を中心とした金融問題や円高の長期化、電力不足への懸念などから景気は先行き不透明な状況で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進した結果、売上高は79億4千9百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は3億7千4百万円（同17.6%増）、経常利益は3億3千7百万円（同6.4%増）、四半期純利益は2億3百万円（同30.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### 化学品事業

売上高は60億3千6百万円（同0.5%減）、セグメント利益は1億4千5百万円（同46.9%減）となりました。

海外では、中国繊維市場が停滞したものの、韓国やインドネシアが好調に推移し、売上高は増加しました。

国内では、自動車関連薬剤は東日本大震災による落ち込みから回復し堅調に推移しましたが、情報記録紙用薬剤が低迷し、売上高は減少しました。

#### 化粧品事業

売上高は19億1千2百万円（同20.7%増）、セグメント利益は5億2千9百万円（同42.7%増）となりました。

美容業界は顧客単価減少など環境悪化が続く中、デミコスメティクスにおけるヘアケア剤及びパーマ剤の新商品拡販、山田製薬株式会社による新ブランド「アンサージュ」の立ち上げ、イーラル株式会社での新商品拡販等、積極的な事業展開が奏功し、売上高は増加しました。

#### (2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、4億5千4百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,932,000
計	44,932,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,710,000	17,710,000	名古屋証券取引所市場第 二部	単元株式数 1,000株
計	17,710,000	17,710,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	17,710,000	-	2,898,545	-	3,039,735

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 110,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,477,000	17,477	-
単元未満株式	普通株式 123,000	-	-
発行済株式総数	17,710,000	-	-
総株主の議決権	-	17,477	-

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日華化学株式会社	福井市文京4丁目23番1号	110,000	-	110,000	0.62
計	-	110,000	-	110,000	0.62

(注) 当第1四半期会計期間末現在の自己株式数は、109,601株であります。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,373,168	4,383,463
受取手形及び売掛金	4 7,599,027	4 7,877,661
商品及び製品	2,612,571	2,609,795
仕掛品	593,584	595,547
原材料及び貯蔵品	2,517,857	2,610,923
その他	734,148	798,640
貸倒引当金	31,978	36,538
流動資産合計	18,398,379	18,839,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,096,678	5,119,079
機械装置及び運搬具(純額)	1,964,765	2,075,286
土地	6,034,750	6,147,357
その他(純額)	1,547,956	1,954,423
有形固定資産合計	14,644,151	15,296,146
無形固定資産		
のれん	24,312	25,486
その他	486,933	467,210
無形固定資産合計	511,245	492,697
投資その他の資産	1 1,973,740	1 1,993,039
固定資産合計	17,129,136	17,781,882
資産合計	35,527,516	36,621,376



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4 3,827,363	4 4,074,382
短期借入金	7,622,144	7,576,134
未払法人税等	117,568	180,670
賞与引当金	397,000	239,900
その他	1,472,532	1,795,492
流動負債合計	13,436,608	13,866,580
固定負債		
長期借入金	7,486,264	7,292,623
退職給付引当金	2,242,580	2,255,334
その他	827,450	842,709
固定負債合計	10,556,294	10,390,667
負債合計	23,992,903	24,257,247
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,169	3,040,249
利益剰余金	6,692,217	6,808,103
自己株式	45,824	45,542
株主資本合計	12,585,107	12,701,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,039	55,558
為替換算調整勘定	2,774,611	2,200,021
その他の包括利益累計額合計	2,694,571	2,144,463
少数株主持分	1,644,077	1,807,235
純資産合計	11,534,613	12,364,128
負債純資産合計	35,527,516	36,621,376

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,648,776	7,949,192
売上原価	5,180,087	5,285,757
売上総利益	2,468,688	2,663,435
販売費及び一般管理費	2,150,040	2,288,607
営業利益	318,647	374,827
営業外収益		
受取利息	2,033	2,889
受取配当金	8,258	10,959
負ののれん償却額	620	-
持分法による投資利益	24,081	30,888
為替差益	5,412	-
その他	42,560	25,909
営業外収益合計	82,967	70,647
営業外費用		
支払利息	40,548	42,672
為替差損	-	30,950
売上割引	18,548	21,779
その他	25,225	12,563
営業外費用合計	84,322	107,966
経常利益	317,292	337,509
特別利益		
固定資産売却益	-	673
特別利益合計	-	673
特別損失		
固定資産除却損	2,148	1,795
固定資産売却損	389	173
投資有価証券評価損	-	1,053
災害による損失	61,912	-
特別損失合計	64,449	3,022
税金等調整前四半期純利益	252,842	335,160
法人税等	54,138	133,455
少数株主損益調整前四半期純利益	198,704	201,705
少数株主利益又は少数株主損失( )	42,333	2,178
四半期純利益	156,370	203,883

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	198,704	201,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,612	24,481
為替換算調整勘定	163,853	738,664
その他の包括利益合計	150,241	714,182
四半期包括利益	348,945	915,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	306,611	753,992
少数株主に係る四半期包括利益	42,333	161,895

**【会計方針の変更等】**

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ486千円増加しております。

**【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】**

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
投資その他の資産	134千円	134千円

2 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)	
	外貨額(千)	円換算額	外貨額(千)	円換算額
徳亜樹脂股フン有限公司	NT\$9,250	25,745千円	NT\$9,250	24,535千円

3 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形割引高	5,860千円	13,716千円
受取手形裏書譲渡高	6,982	8,170

4 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	295,870千円	235,408千円
支払手形	85,712	81,381

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却額を含む。)、負ののれんの償却額及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	336,397千円	319,545千円
負ののれんの償却額	620	-
のれんの償却額	-	88

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	88,007	5	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	87,998	5	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	6,064,591	1,584,184	7,648,776	7,648,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,998	7,779	9,777	9,777
計	6,066,589	1,591,964	7,658,553	7,658,553
セグメント利益	274,649	370,703	645,353	645,353

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	645,353
セグメント間取引消去	4,063
のれんの償却額	1,231
全社費用(注)	332,000
四半期連結損益計算書の営業利益	318,647

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	6,036,291	1,912,900	7,949,192	7,949,192
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,820	5,763	7,583	7,583
計	6,038,112	1,918,663	7,956,776	7,956,776
セグメント利益	145,881	529,127	675,009	675,009

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	675,009
セグメント間取引消去	4,063
のれんの償却額	1,852
全社費用（注）	306,096
四半期連結損益計算書の営業利益	374,827

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8円88銭	11円58銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	156,370	203,883
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	156,370	203,883
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,601	17,600

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月9日

日華化学株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 近藤 久晴 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日華化学株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日華化学株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。